



第23回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2026

入場料
無料

持続可能な 肉牛生産を考える



日時

2026年10月22日(木)
13:00-17:00

場所

帯広畜産大学 講堂

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11

世界的な物価上昇や円安による輸入品・エネルギー価格の高騰に加え、飼料や資材価格の上昇が続
き、畜産経営を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした中、自給粗飼料やエコフィードなど、地域
で活用可能な飼料資源の利用が改めて注目されています。

一方で、未利用資源の活用はこれまでも進められており、利用可能性の高い資源については、既に活用
が進んでいるものが多く、新たな資源を見つけ、飼料として実用化することも容易ではありません。そう
した中で、私たちはどのような資源を活用していくべきなのでしょう。また、消費者は自給飼料を活用し
た畜産物やオーガニックビーフ等に、どのような価値を見いだしているのでしょうか。そして、エコフィード
や自給飼料は、実際の生産現場でどの程度活用されているのでしょうか。

本シンポジウムでは、エコフィードの活用やオーガニックビーフ等に対する消費者の評価についてご講演
いただき、研究者、生産者、流通関係者など多様な立場から、地域資源を活用した資源循環型の肉牛生
産の現状と可能性について考えます。

基調講演

「エコフィード等をめぐる情勢」※オンラインでの講演になります

農林水産省 畜産局 飼料課 課長補佐(飼料利用調整班担当) 齊藤 秀幸氏

話題提供1

「(仮)オーガニックに対するアメリカと
日本の消費者意識の違い」

帯広畜産大学 准教授 窪田 さと子氏

話題提供2

「西日本における耕作放棄地を活用した放牧畜産の事例」

てまひま農園 氏本 長一氏

話題提供3

「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

司会：北海道酪農畜産協会

片山 陽介氏

解説：帯広畜産大学 教授

口田 圭吾氏

パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表

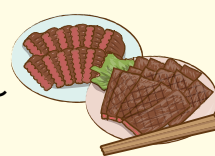
※各講演者の講演内容はタイトルの内容となりますが、講演タイトルは(仮)となります。

意見交換会 (希望者のみ)

日時 10月22日(木) 18:30～

場所 ランチョ・エルパソ
(帯広市西16条南6丁目13-20)

参加 参加費：一般 6,000円／会員 4,000円／学生 3,000円



現地検討会 (希望者のみ)

日時 10月23日(金) 10:00～

場所 北の牧場舎 本場と第2農場(音更町)



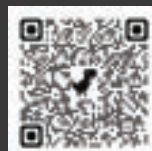
共催：環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角
牛振興協議会、日本オーガニック畜産会合

後援：帯広市、北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、十勝農業協同組
合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、NHK
帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日
新聞社、(社)北海道中小企業家同友会、
帯広畜産大学 次世代農畜産技術実証センター

シンポジウム
申込み・問合せ先

TEL:080-7635-5479 FAX:0155-40-7301

e-mail: a-mori@kitanomakibasya.com (株)北の牧場舎：森下 仰



環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による牛肉として認証するeービーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

プログラム

13:00 開会挨拶

13:15~14:25 基調講演「エコフィード等をめぐる情勢」※オンラインでの講演になります

農林水産省 畜産局 飼料課 課長補佐(飼料利用調整班担当) 斉藤 秀幸 氏

14:35~15:25 話題提供1「(仮)オーガニックに対するアメリカと日本の消費者意識の違い」

帯広畜産大学 准教授 窪田 さと子 氏

15:35~16:00 話題提供2「西日本における耕作放棄地を活用した放牧畜産の事例」

てまひま農園 氏本 長一 氏

16:00~16:25 話題提供3「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

司会：北海道酪農畜産協会 片山 陽介 氏

解説：帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏

16:35~17:00 パネルディスカッション

パネラー：講演者、消費者代表

17:00 閉会挨拶

意見交換会(希望者のみ)

日時 10月22日(木) 18:30 場所 ランチョ・エルパン

参加 参加費：一般 6,000円／会員 4,000円／学生 3,000円

現地検討会(希望者のみ)

日時 10月23日(金) 10:00

場所 北の牧場舎 本場と第2農場(音更町)

参加申込書

締切期限 10月17日(土)

参加される方は、右記の二次元バーコード、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

(株)北の牧場舎：森下 仰

FAX:0155-40-7301 E-MAIL:a-mori@kitanomakibasya.com



氏 名	連絡先(TEL)	E-mail	シンポジウム	意見交換会	現地討論会